

キャスリーン・バトル プレミアム・ナイト

Kathleen BATTLE Premium Night

私たちは、美しいソプラノを知っている



2017年 **10/16** (月) 19:00

ザ・シンフォニーホール

Monday, October 16, 2017 at 7 p.m. The Symphony Hall, Osaka

2017年 **10/19** (木) 19:00

サントリーホール

Thursday, October 19, 2017 at 7 p.m. Suntory Hall, Tokyo

[10/16]S¥18,000 A¥15,000 B¥12,000 C¥9,000

[10/19]S¥22,000 A¥17,000 B¥12,000 C¥9,000

主催: KAJIMOTO 協力: ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル

キャスリーン・バトル (ソプラノ) Kathleen Battle, soprano

ジョエル・マーティン (ピアノ) Joel Martin, piano

<Something to Sing About>

ヘンデル: オンブラ・マイ・フ (オペラ『セルセ』から 懐かしい木陰よ)

モーツァルト、ラフマニノフ、ジョプリンの歌曲

オペラ・アリア ほか

詳細が決定しましたら、弊社Webページ等で発表いたします。

キャスリーン・バトルが22年ぶりにMETに復帰——「待つだけの価値あり」

Anthony Tommasini (「New York Times」2016年11月14日)

(前略) 去る日曜、バトルは現在の総支配人ピーター・ゲルブに招かれてMETに復帰した。——(中略) 68歳のバトルの歌唱は、並外れた澁さと美しさを湛えていた。思い起こせば、オペラ歌手として全盛を誇った頃のバトルの声質は、ゾフィー役(R.シュトラウス《ばらの騎士》)やスザンナ役(モーツァルト《フィガロの結婚》)にうってつけの軽やかなリリック・ソプラノである。しかし同時に、バトルの歌い方は極めて明瞭で華やかであったから、その演奏は、ふくよかながらも良く通る響きと、燦然たる存在感を兼ね備えていた。去る日曜のバトルの歌唱は、そうした絶頂期の特長を押しなべて留めていた。時折、息苦しそうなのパッセージや、かすかな疲労の気配が目についたが、バトルの声は総じて見事に響いていたし、何より、美しい高音は健在だった。——(中略) 筆者が特に感銘を受けたのは、彼女がピアノとのデュオで披露した黒人霊歌で、なかでも《天国という都》では、「約束の地」への憧れ、悲哀、そして子どもを彷彿させる天真爛漫さが、感動的に織り交ぜられていた。バトルは今もなお、骨の髄までプリマドンナである。(後略)

キャスリーン・バトル(ソプラノ)

Kathleen Battle, *soprano*



「無条件で、世界でもっとも美しい稀有な声のひとつ」(ワシントン・ポスト紙)
「奇跡的な、底なしの瓶に注がれたミルクの最良の上澄み」
(ニューヨーク・タイムズ紙)

オハイオ州ポーツマス生まれ。幼い頃から教会や学校で歌い、音楽教師となった後、天賦の才、知性、たゆまぬ努力によってクラシック音楽界の頂点に上り詰めた。レヴァイン、アバド、ムーティ、プレヴィン、小澤らの指揮者や世界第一級のオーケストラ、ドミンゴ、パヴァロッティ、パールマン、マルサリスらとも共演を続け、特にカラヤンに招かれてウィーン・フィルのニューイヤーコンサート史上初めて歌手が出演したことは特筆すべきことであった。オペラのレパートリーはヘンデル、モーツァルトからR.シュトラウスに及び、メトロポリタン歌劇場をはじめとする世界主要オペラハウスやザルツブルク音楽祭に出演、リサイタルも盛んに行い、カーネギーホールでのデビューコンサートはライブCDとなってグラミー賞を受賞。そのほかにもバトルの数多い録音は様々な賞を受賞している。聴衆や批評家が絶賛する透明な声はクラシック音楽の枠を超え、特に黒人霊歌の偉大なる歌手としての活動は、あらゆる文化の垣根を飛び越えて感動をもたらした。その傑出した芸術活動を称えられ、NAACP(全米黒人地位向上協会)イメージ・アワードの殿堂入りや、数多くの大学でも賞を授与されている。加えてバトルはTV放送、人気トーク番組への出演を通じて新しい聴衆を開拓している。

日本でも1980年代後半、ウィスキーのTVCMで爆発的な人気を博して以来、度々来日して聴衆を熱狂させた。

ジョエル・マーティン(ピアノ)

Joel Martin, *piano*



1985年、ヴァン・クライバーン国際ピアノ・コンクールに史上最年少で、アフリカ系アメリカ人として初めて出場。ソリストとしてニューヨーク・フィル、フィラデルフィア管等と共演している。バトルの他、ファーギー(ブラック・アイド・ピーズ)、ブルックリン・ユース・コーラス、ユージーン・フリーゼン(ポール・ウィンター・コンサート)、「ロックの殿堂」入りを果たしたジェイモー(オールマン・ブラザーズ・バンド)らと協働。サイモン・エステスやリズ・キャラウェイら豪華出演者によるネルソン・マンデラ・トリビュート・コンサートをプロデュースするなど、多方面で才能を発揮している。

キャスリーン・バトル 必聴名盤@ソニー・クラシカル

Sony Music Japan International

クラシック・キャスリーン・バトル



【録音: 1983~2001年】
CD ● SICC 359 ¥1,600+税
DSDマスタリング/ルビジウム・クロック・カッティング

アヴェ・マリア



ロバート・サディン指揮 アメリカン少年合唱団他
【録音: 1995年11月】
CD ● SICC 1090 ¥1,600+税
DSDマスタリング/ルビジウム・クロック・カッティング

バロック・デュオ



ウィントン・マルサリス(トランペット)、
ジョン・ネルソン指揮 セントルークス管弦楽団
【録音: 1990年9月】
CD ● SRCR 2653 ¥1,800+税

エンジェルス・グローリー



クリストファー・パークニング(ギター)
録音: 1996年5月
CD ● SRCR 1695 ¥2,233+税

キャスリーン・バトル ザ・コンプリート・ ソニー・レコーディングズ



完全生産限定盤
10CD ● 8898538136-2
【輸入盤/オープンプライス】

歌詞は掲載されておりません。また
直輸入盤につき解説の日本語訳は
掲載されておりません。

チケットのお申込み

カジモト・イープラス

検索

www.kajimotoeplus.com

カジモト・イープラス 0570-06-9960

※オペレーター対応(10:00~18:00)
ホームページからお申込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。
0570で始まるナビダイヤル番号は、PHS、IP電話など一部の回線からは接続されない
場合がございます。NTT加入電話、公衆電話などをご利用願います。

チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード: [10/16]337-025 [10/19]337-026)
e+(イープラス) http://eplus.jp/k-battle/
CNプレイガイド 0570-08-9990
ローソンチケット 0570-000-407
ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333(10/16公演のみ取扱い)
サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017(10/19公演のみ取扱い)

twitter @kajimoto_News

facebook kajimotoeplus

YouTube kajimotoeplus

「kajimotomusic」で検索!

@kajimotomusic

便利なケータイサイトも
ぜひご利用ください。
iPhone・EZweb・
Yahoo!ケータイ 対応
チケットもご購入いただけます。



カジモト・イープラス

●やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承願います。
●未就学児のご入場はご遠慮いただいております。
●団体料金のある公演も場合がございます。詳しくはお問合せください。

好評発売中